

環境再生プロジェクト：ネットワーク組織のあり方

1 組織・機能として

- ・ ゆるやかなネットワーク組織
- ・ 連絡機能
- ・ 情報交流機能
- ・ コーディネート機能
- ・ 連絡・広報機能
- ・ 拠点機能
- ・ 広げる・見つける・紹介する機能
- ・ アプローチのしやすさ

2 手法として

(1) 出会い・気づきの場づくり

環境ネットワークまつりの開催

- ・ 子どもたちの活動発表の場とするなど枠を広げる
- ・ 酒匂川流域・足柄地域の広域の参加とする

ウェブ上での双方向情報交流

- ・ グリーンマップの作成（オープン化）
- ・ ホームページ
- ・ メーリングリストの活用
- ・ ツイッターなど

研修・学習の場の提供

- ・ 体験作業
- ・ ボランティア講座
- ・ リーダー研修
- ・ 活動交流会
- ・ 森づくり講座
- ・ 里山体験・工作教室
- ・ 川の自然体験
- ・ 自然観察会
- ・ 学校との連携
- ・ IT活用研修

(2) コンサルティング

- ・ 活動の立ち上げ支援
- ・ 組織づくり支援・運営支援
- ・ 広報活動・IT支援
- ・ 活動メニューづくり
- ・ 助成金などの紹介・申請支援

(3) 調査・データベース

- ・ 環境調査
- ・ 環境データベース
- ・ 活動データベース

3 組織形態

- ・ 任意団体
- ・ NPO法人
- ・ 一般社団法人

4 課題

- ・ 事務所
- ・ 専従職員
- ・ 収入

5 来年度以降具体化に向けてやること

- ・ ネットワークまつりでのアンケート
- ・ ワークショップ開催（機能・組織化の話し合い）